

Amazon S3の送信統合

概要

任意のサードパーティーのソフトウェアを接続し、追加レポート機能やセグメント化されたエンドユーザーエクスペリエンスを実現します□

S3への統合は、スケジュールに基づいてAmazon Simple Cloud Storage□S3□バケットにInsightsレポートをエクスポートできます。そしてこれを使用してデータウェアハウスまたはBIツールに接続することで、システムをさらに分析するとともに、組織内の他の担当者がWalkMeエンゲージメントを見ることができるようになります。

ユースケース

- データウェアハウスまたはBIツールに接続して、システムをさらに分析する
- 組織内の他のステークホルダー向けにWalkMeエンゲージメントの可視性を高める

統合の作成

インテグレーションを作成する前に、以下が利用できることを確認してください。

- An Amazon S3バケット。インテグレーションに特化したものを作成することを推奨します。
- エクスポートしたいすべての情報を表示するレポートがInsightsに存在すること。

ステップ1 – レポートを確認

統合とS3バケットへのエクスポートを設定する前に、レポートが利用可能であり必要な構造であることを確認してください。

1. Insightsにログインします
2. [Insights Reports(Insightsレポート)] タブに移動します
3. レポートを見つけます
4. メールにエクスポートして、実際に必要なレポートであることを確認してください。そうでない場合はWalkMe担当者までお問い合わせください。

ステップ2 – 送信先バケットを作成

レポートをエクスポートする宛先のバケットを作成します。パスに応じて異なるレポートを区別しながら、いくつかの統合とレポートエクスポートにバケットを使用できることに注目してください。

1. Insightsにログインします

2. [Integration Center(統合センター)] に移動します[Integration(統合)] タブ)
3. [Amazon S3 Integrations(Amazon S3統合)] をクリックします
4. [Destinations(送信先)] をクリックして、すべてのS3送信先を表示します。
5. [+ New destination(+新しい送信先)] をクリックして、新しい送信先バケットを作成します
6. フォームに必要な事項を入力します。
 - **Destination Name** (送信先名) - Insights統合センターで呼び出される際の送信先バケット名。主に、異なる送信先バケットを識別するために使用されます。
 - **Bucket name** (バケット名) - Amazonコンソールで表示されるAmazon S3バケットの実際の名前。
 - **Optional Path** (オプションのパス) - エクスポートされたレポートファイルを配置するパス。空のままにすると、ファイルはバケットのルートに配置されます。
 - **Access Key and Security Key** (アクセスキーとセキュリティキー) - WalkMeがバケットにアクセスし、そこへファイルを配置するのに利用する認証情報。
 - **Region** (リージョン) - Amazon S3バケットのリージョン。
7. Save the destination(送信先を保存) - 次にWalkMeは、挿入されたAmazon S3バケットを検索して、パラメーターの1つが間違っておりバケットが見つからない場合はエラーを表示します。

ステップ3 - 統合を作成

ステップ2で作成されたAmazon S3送信先バケットへのレポートのエクスポートを設定します。

1. Insightsにログインします
2. [Integration Center(統合センター)] に移動します[Integration(統合)] タブ)
3. [Amazon S3 Integrations(Amazon S3統合)] をクリックします(「ステップ2 - 送信先バケットの作成」の操作から続ける場合は、[back to the Integrations list(統合リストに戻る)] をクリックします)
4. [+ New Integration(+新しい統合)] をクリックします
5. フォームに必要な事項を入力します。
 - **ウィザードステップ1: エクスポートするレポートを定義**
 1. リストからレポートを選択します。カスタムレポートを含む利用可能なすべてのレポートのリストが表示されます。
 2. レポートを取得するWalkMe環境を選択します。利用可能なすべてのWalkMe環境のリストが表示されます。
 3. 日付範囲を選択します。エクスポートの各実行でレポートをクエリする期間を定義します。
 4. [Export Frequency(エクスポート頻度)] を選択して、正しいタイムゾーンを選択してください。
 - Daily(毎日) : 毎日、選択した指定時刻にレポートを含むメールが送信されます。
 - Weekly(毎週) : 毎週、選択した指定の曜日と時刻にメールが送信されます。
 - Monthly(毎月) : 毎月、選択した日にちと時刻にメールが送信されます。
 - **ウィザードステップ2: 送信先を選択**
 - ステップ2で定義された送信先を選択します。

2. 「**Save**（保存）」をクリックします。

ステップ4 – エクスポートされたファイルを使用します

設定された頻度に応じて、ステップ3で定義されたレポートはステップ2で定義されたバケット内のパス（またはルート）にエクスポートされます。

定義されたパスに応じて、任意のBIツールまたはDataWhouenceコネクターを設定できます。

バケットにエクスポートを即座に実行するには、設定時間を待つだけでなく、統合メニューから「**Run Now**（今すぐ実行）」をクリックできます。